

たんちょう通信

～ 第 60 号 ～



こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。いつも「たんちょう通信」をお読み頂きまして、誠にありがとうございます。私たちが住んでいる地域は、今後30年の間に南海・東海トラフ地震が発生する確率が約70～80%と予測されております。100年単位の間隔で起こる災害のほか、最近では台風や大雨による風水害についても年々激化の傾向にあります。天変地異や自然災害は私たちが生きていくうえで逃れようのないものです。しかしながら、災害が起きたときは、「自助」「共助」

の精神で具体的な行動を起こさなければ、大切な「家族」や「仲間」を助けるどころか、我が身を助けることもできません。このためにも一人ひとりが日頃から「防災意識」を高め、「防災」「減災」に向けた活動が日々の生活と一体となった「防災の日常化」をめざしていくことが大切だと思います。弊社では、その担い手となるよう、地域で助け合う「自助」「共助」「地域防災」をテーマにイベントを開催しております。今年の「春の感謝祭」はコロナウイルスの感染防止のため、開催できませんでしたが、また、時期を見計らって、できれば秋ごろにも「地域防災」をテーマに「感謝祭」を開催したいです。「防災意識」を高めると共に、地域の絆を結んで、イベントを通じて、お客さま同士の「ご縁」が深まり、互いに助け合える環境づくりに専念して参ります。そして、弊社社員が「皆様」の「毎日営む生活」見守る「お助け隊」として、活躍することが何よりも求められていると思います。永年「培ってきた実績」と「地域のネットワーク」を活かした、お客様に寄り添うサービスを提供する「たんちょう隊」をこの度結成しました。私たち「たんちょう隊」は、「電気」

「ガス」「水道」のライフラインを通じて「自助」「共助」の精神で「地域防災」に取り組み「お客さま」の「毎日営む生活」を守って行きます。感謝





みなさん、こんにちは。四日市北部配送担当の後藤です。



後藤 章大

私には6才の息子と2才になる娘がいます。子供の成長は早いもので気付けばもう

小学校へ進学お歳になりました。自分の足で通学している姿を見ると親としては

少し不安になる時もありですが、しっかり大きくなって来たなと感じます。又、家では小さいながら

母を手伝い、妹の面倒をみてくれる頼れるお兄さんです。娘の方も、二人且ながら

女の子ながら言葉の発達、行動力の成長には日々、驚かされるばかりです。そんな二人が毎日元気で

楽しんでくれている姿を見ると少し疲れているとしても、手はまだ元気でいるぞ！という活きをもつ、お父さん、お母さんと

呼ばれれば、自然と笑顔になります。子育ては子供が成人するまでが親の役割です。

二人の笑顔を大切に守り続けて、家族と一緒に成長を見守ってまいります。

今回で私の話は終りとなります。最後までお読み頂きありがとうございます。



防災 コーナー

風水害 から 逃げよう

洪水時の避難のポイント

避難の際は、こまめに手洗い
咳エチケット等の、基本的な
感染症対策を行いましょう。



避難所の確認!

動きやすい格好で 2人以上
その避難をバがけましょう

- 通常の防災用品に加え、
- ・マスク・体温計・ハンド
- ソープ・アルコール消毒液
- ・ビニール手袋 などがあると
- 感染予防に効果的です。

歩ける深さは、ひざの高さくらい
まで! 水の流れる速いときは、
20cmくらいの水がさても危険です。



水の中には何があるか
分からず危険です。
柱などで、安全を確認
しながら、十分注意して
進みましょう。



運動靴が最適!



マンホールの蓋が外れている場合も...

避難所が密集・密接状態になることを防ぐために...

安全が確保できる場合は、在宅避難・災害の危険のない親戚や知人の家などの
避難も検討してください。最も身の安全が確保できる場所へ避難しましょう。